

て謝意を表しておく、また余が走り廻るに反して、君が座して  
隔意なく終りまで圓満に同宿者諸君の親密を謀られし事を重ね  
て余も謝してをく。オトーサンの起りは、去年大阪で寄宿舎の  
元締であつたからで、また一名前韓國皇帝の稱を奉つたのは、  
君の顔つき髭の工合がドー見ても似てゐるからだとのことだ、  
今年も對山樓で一名奉つたが、之れは秘してをく。

同宿者の別名は多くあつて、大抵一人／＼附けられて居たが、  
有名なだけを書残してをく、また思ひ出しても興味があると  
思ふから。田舎者、ハモニカ、拾六枚君、洗たく屋、第一細  
君、第二細君、コワイ人、松魚、茶香、コセ、狼、エーヘン等で、そ  
の中エーヘンは一時盛んに流行したものであるが譯を解するも  
のは知る人ぞ知る。また女中の別名もあつて、なる江君が大  
佛、みさを君がハイカラ、つる江君の嫁さん、お清のヤスクニ、  
お好の煙草屋、外に二三人あつた。その中なる江、つる江、み  
さを君などは、なか／＼よく終りまで嫌な顔もせず立ち働い  
てくれた、ましてなる江君の心切、心情に至つては、實に深く  
謝してをく、この外の失敗談や滑稽談等は自分の知れる限りで  
も色々あるがこのたよりはたゞ滞在中の輪廓だけに止めてをく  
また面白き色は諸君等の方で塗つてくれるだらうと思ふ。

書き落したが、滞在中誰やらが「對山樓では靴を見て飯を喰ふ」  
と評されたがこれは實で、初めから終りまで玄關で日々三度の  
食事を喰されし事を書き残してをく。

終りに臨んで同宿者諸君の將來の健全を祝し、茲に同宿中余の

職の至らざるを謝す、また宿主女中一同とも健全なれ。何日か  
また來るこの會に再び相見む事を今より指折り操りて待つ。

(九月拾三日)

追て京阪神地方の同趣味者に申す。

本年も例年の通り關西美術會第七回洋畫展覽會は拾月十日よ  
り十一月五日まで京都岡崎美術館内に開催御座候間陸續御來  
館下され度候その節小生は日々同事務所にて御待ち申居候故、  
御尋れ下され候はゞ館内御案内及び、識れる限り説明申上た  
く候間、是非御來館の節は御尋れ下され度候。以上

## 近 事

○みどり洋畫會にては十月四日より二十五日間上野公園竹の臺  
陳列場にて展覽會を開き、猶毎月例會を開いて大に斯道を研究  
すべしといふ

○文部省第二回美術展覽會及白馬會は、何れも十月十五日より  
十一月二十三日迄上野に於て開會さるべし

○石川欽一郎氏は歸京中の處、去月五日再び臺灣へ出張され  
り

○日本銀行有志の繪畫展覽會は本月三日坂本公園内の茶亭にて  
催さるべしと

○本月一日より二日間山形市に於て繪畫展覽會あり、水彩畫に  
は東京より吉田博氏及大下氏の出品あるべし